

海田町教育委員会告辞

瀬野川のせせらぎや日浦山から聞こえる小鳥のさえずりに、春を感じる今日の佳き日。

年号も平成から令和へと変わり、令和元年度海田町立海田西中学校卒業証書授与式が挙行され、74名の皆さんが義務教育の全課程を修了し、「令和」初の卒業生としてこの海田西中学校を巣立っていくことを心からお慶び申し上げます。

日夜温かい愛情を注ぎ育てられ、この日を待ち望んでおられた保護者の皆様のお喜びは、ひとしおのものがあると思います。

最高学年としての自覚をもち、主体的に行動する卒業生の皆さんの姿は、後輩たちにとって、これからの中学校生活の大きな道しるべとなっていくことでしょう。

令和元年のノーベル化学賞には、「社会に必要とされるものを作る」という強い信念をもってリチウムイオン電池の実用化につなげた旭化成名誉フェローの吉野彰さんが選ばれました。簡単に結果が得られず、長い年月をかけて研究を続けてこられた吉野先生は、ノーベル化学賞受賞決定後の講演で、

「失敗しないと絶対に成功はない。」

「もしも失敗が続いたとしても焦らないでください。失敗から学んだ経験が、きっとあなたを成長させ、困難を乗り越える力になるはずです。」と説いています。

この言葉は、科学の進歩や環境の保全に向け「社会に必要とされるものを作る」という信念の基に、吉野先生が歩まれた道のりであり、生き方そのものであり、私たちが学び続けていく上での指針となると思います。

皆さんが歩まれるこれからの道のりは、決して平坦なものではないかもしれませんが、これまで様々な困難を乗り越えた自信を胸に、夢に向かって学び続けていくものと信じています。そして、5年後の成人祭で、それぞれが抱いた夢や希望を笑顔で語り合ってくれることを期待しています。

最後になりましたが、埴越校長先生をはじめ、これまで御指導いただいた諸先生方に心から感謝申し上げますとともに、ここにお集まりの全てのみなさまの今後の御活躍と御健勝を祈念し、教育委員会告辞といたします。

令和2年3月8日

海田町教育委員会